

審議会等の会議結果報告

1 会議名	令和５年度第１回津市地域自立支援協議会
2 開催日時	令和５年６月２９日（木） 午後１時３０分から午後３時３０分まで
3 開催方法	オンライン（ＺＯＯＭ）と会場参加によるハイブリッド開催
4 開催場所	津センターパレス２階 津市中央公民館情報研修室
5 出席した者の氏名	（津市地域自立支援協議会委員） 紀平、小柴、後藤、高嶋、高鶴、谷口、千草、塚本、藤川、増田、又市、水谷、村田、本弘、横山、渡邊 （事務局） 障がい福祉課長 駒田 障がい福祉課調整・障がい福祉担当主幹 堀川 障がい福祉課障がい福祉担当主幹 川北 津市基幹障がい者相談支援センター 藤原
6 内容	議事 １ 令和４年度各種事業等の実績報告について ２ 令和５年度事業計画 ３ その他
7 公開又は非公開	公開
8 傍聴者の数	０人
9 担当	健康福祉部 障がい福祉課 障がい福祉担当 電話番号 （０５９）２２９－３１５７ E-mail 229-3157@city.tsu.lg.jp

1 会議の位置づけ・出席・配布資料等

(1) 会議の概要

- ・ 情報公開条例に基づき公開、議事録は市 HP で公開予定。
- ・ 新任委員の紹介、欠席・オンライン出席状況の報告。定足数を満たし成立

(2) 配布資料・計画見直し

- ・ 資料 1～7、現行「津市障がい者福祉総合プラン」（令和 3～5 年度）を配布。
- ・ 令和 6 年度からの新プラン策定のため本年度に見直しを実施。協議会の開催回数は増加見込み。

(3) 進行体制

- ・ 会長が議事進行。令和 4 年度実績報告、令和 5 年度計画、その他の順で審議。

2 令和 4 年度の主な実績報告

(1) 協議会・研修等の開催状況

- ・ 本会開催は 1 回。差別解消専門部会・地域生活支援拠点委員会は未開催。
- ・ 相談支援従事者（初任者・現任者）研修の実習を市内で実施。差別解消法職員研修を実施（雇用場面の合理的配慮、手話通訳導入、受講実績約 3,700 名）。

(2) 基幹障がい者相談支援センターの活動

- ・ 年 4 回の人材育成研修（借金対応、法テラス連携、生活困窮制度、刑事司法と福祉）。
- ・ 事例検討（65 歳移行テーマ）、相談支援従事者の集い（2 回）、初任者 17 名・現任者 24 名の研修運営。
- ・ 年間支援件数 3,850 件。体制強化、権利擁護、地域移行・定着、困難事例（保護観察、強度行動障害、虐待、ひきこもり等）を中心に対応。

(3) 地域障がい者相談支援センターの実績

- ・ 実人数 379 件。相談 7,258 件（福祉サービス利用支援が最多 3,448 件）。手段は電話が最多（5,155 件）。
- ・ 障がい種別は精神が最多。地区は旧津市が最多。

(4) 就業・生活支援センターの実績

- ・ 登録者 654 名（ここ数年は 500～650 名で推移）。精神（発達障がい含む）の比率が近年増加し知的を上回る傾向。身体は情報提供中心で継続支援に至らないことが多い。
- ・ 相談 3,339 件（1 人当たり対応時間の長時間化で件数は漸減）。就職 45 件（例年並み）。

(5) ワーキンググループ（4 領域×各 3 回）

- ・ しごと WG：関係機関連携（医療、ハローワーク等）。デイケアの就労支援紹介、就労当事者の講演・討議を実施。
- ・ 地域移行 WG：入所系からの移行、強度行動障がい支援、日中サービス支援型 GH 等の社会資源見学（オンライン含む）。
- ・ 精神保健福祉 WG：3 精神科病院・開業医・行政連携で交流会を初開催（体操、e スポーツ、ボッチャ、事業所紹介等）。継続検討。
- ・ 地域課題 WG：全地区を 3 回に分け課題の聞き取り・整理（旧津市外も含め支所・社協と連携）。現任研修受講者も参加。

(6) 日中サービス支援型グループホーム（GH）の状況

- ・ 市内の整備棟数は 4 棟（例：あすか、南風荘、かなで、彩はうす）。同一法人の日中系事業と連携する形と、単独で日中を完結する形の双方が存在。
- ・ 利用状況例：特定 GH で日中通所を利用しない者が少数在籍。定員に対し年度内の出入りがあり延べ人数が定員を上回るケースあり。
- ・ 地域理解の進展と課題（新設時の反対・不安、事故時対応と関係構築等）。今後も協議会で運営実態の把握・評価を継続。

(7) 虐待対応・権利擁護

非公開

(8) 地域生活支援拠点の運用（緊急時の相談・受入）

- ・ コーディネーターが初動対応し、知的＝指定施設、身体＝指定施設（夜間看護体制あり）、精神＝指定施設へ一時受入（1～2 泊）し次支援へ接続。
- ・ 登録候補 19 名（申請中含む）。高齢親世帯の比率が高く、GH やショートの前体験・活用促進を指導。
- ・ 医療的ケア者の緊急受入に課題（看護対応の可否、病院ショートの活用検討）。地域医療機関連携の強化が必要。

3 令和 5 年度の事業計画・その他

(1) 協議会体制・開催計画

- ・ 体系図は昨年度踏襲。ワーキング 4 領域を各 3 回開催予定。
- ・ 障がい者福祉総合プラン（次期：令和 6 年度～）策定に向け、本年度中に 3～4 回程度の本会開催予定（国の基本指針の公表時期により 9～10 月開始見込み）。
- ・ 相談支援現任研修の一環として協議会参加・見学を継続。

(2) 次期「津市障がい者福祉総合プラン」策定

- ・ 現行プラン（令和 3～5 年度）の見直し。前年度に当事者・児者・市民の

アンケート計 4,500 件送付（有効配布 4,482、回答 2,102）。集計済。

- ・ 国の障害福祉計画・障害児福祉計画の基本指針（第 7 期・第 3 期）の改定待ち。7 月の県会議で示達見込み。
- ・ 7 月に当事者団体ヒアリング、以降、協議会で逐次審議。

(3) 日中一時支援事業の見直し検討

- ・ 市単独事業で委託契約型。費用増大や苦情対応の実態を踏まえ、他市状況調査・指定・支給決定の在り方見直しを検討。

(4) 地域生活支援拠点の充実

- ・ 緊急受入に加え、体験の場の確保・既存資源との提携を本年度検討。

(5) 市設置 6 事業所の今後（指定管理からの移行検討）

- ・ 対象：5 作業所+GH（計 6 事業所）。老朽施設（コスモス）の建替含め、民間の力を活用しつつ公平性に配慮して一体的に譲渡・賃貸借での事業継続を目指す方針を説明済。
- ・ 入札スケジュール：令和 5 年 7 月に公告予定、令和 6 年 3 月入札、令和 7 年 4 月事業移行。
- ・ 条件案（利用者の不安軽減を重視）：現在のサービスを 10 年間継続、コスモスは令和 9 年 10 月末までに整備、現利用者の希望者全員を引継ぎ、円滑な移行へ丁寧な説明。参加資格は市内で同種サービスを提供する社会福祉法人等（現指定管理者も対象）。

(6) 行事予定

- ・ 「ひろがれ友情・ひろがれ仲間」：令和 5 年 11 月 19 日開催に向け調整中。

(7) その他

- ・ 農福連携の動向共有（一次産業での就労の可能性）。精神保健分野の交流・「にも包括」体制づくりを継続検討。
- ・ 次回協議会は国指針の示達状況により 9～10 月目途。資料準備の上、日程確定次第通知。